

# 体研連 +ONE

## さっぽろ

札幌市学校体育研究連盟 編集部広報

令和2年 2月20日 No.56

文責：後藤 良太（札幌市立新光小学校）

## 第5回事務局会+ONE研修

2月13日（木）に資生館小学校で第5回事務局会が行われ、令和元年度の活動報告がされました。また、事務局からは、次年度の業務推進計画案も提案されました。

5つのCを色濃く打ち出し、活動してきた2年間であったこと、また、それを次年度も継続していくことで、スポーツが好き、運動をすることが好きという子どもを体育の授業で育てていくということを確認しました。その他にも確認・連絡事項として、



- ・環境広場さっぽろ（例年8月、札幌ドームにて開催）が、オリンピックの関係上、次年度は5月に開催予定。連盟の新組織発足前なので、今年度の組織体制で行う予定。
- ・50周年記念式典のデータを一括して事務局で管理する。どんな些細なものも残し、財産としてこれからの先生達へ引き継いでいく。そのデータの所在なども明らかにし、次に残せるような管理体制も整えていく。また、その反省など、60周年をより良くできるものとして残していく。
- ・例年10月開催の道大会（次年度はオホーツク大会）が、次年度は11月20日に開催。次年度への動きも始まりつつあります。会員一丸となり、ワンチームでの協力体制をお願いいたします。

## +ONE研修 先輩からのメッセージ

今年度でご退職される、発寒南小学校村田仁司校長先生より、ご自身の実体験に基づいた、貴重なお話をお聴かせいただきました。

○大学時代から今に至るまでの思い出話を交え、多くのお話をお聴きました。連盟での活動、全道大会や全国大会の運営を通し、体育の授業づくりだけではなく学校運営や組織作りについて多くの事を学ぶことができたということでした。

○毎日多忙な業務の中でこそ、みんなで授業づくりなどをしていくこと。連盟でも大切にしている、5つのCに繋がっていく、大事なことであるとお教えいただきました。

○体育人として、自分の得意分野（専門の競技など）をもつことで、指導者としてだけではなく、プレイヤーとしての視点からも、指導をすることができることをお教えいただきました。また、何かを続けることは、さらなる向上心や自信となり、子どもたちに教える場面で役立ち、還元することができるということもお教えいただきました。

また、連盟を始め、様々な人との関わりやつながりを大切にしていくという、基本であり重要なことを改めてご指導いただきました。大変貴重なお話をありがとうございました。



村田仁司校長先生  
（発寒南小学校 校長）

最後に、相談役としてご指導いただいている渡辺寛志先生と渡辺元先生から、現在の職場を見ても教職員のすごさを実感している。その理由として子どもを成長させ、自分自身も成長していくことにある。これからもプラスの思いで仕事をしていくとよい。また、10月より幼児教育の無償化がスタートし、今後はより特化した教育の流れになっていくが、同時に主体的な保育への移行の意識も高まっているので校種を越えて考えていく必要がある。とお話をいただきました。